日本プロレタリア音楽家同盟
# 同盟ニュース
No 17
東京市外上戸塚
日本プロレタリア音楽家同盟
1932・6・9.

## メーデー斗争の批判から新らしい活動へ

### 一

我が同盟のメーデー・カンパは終っただが吾々はここで気をゆるめて休息するいとまはない。メーデーカンパの厳格な批判の中から、直ちに次の斗争のため一分の狂ひもなく、正しいテンポを刻み出さねばならぬ。

我々の今年のメーデー・カンパを省み昨年の同じカンパと比較して考へる時、そこに厳然たる大きな進歩の跡を見る。

一、メーデー対策委員会が作られ之に依って統一的に斗争が指導された事

二、文芸班・作曲班ではメーデーの為の新らしい創作が活潑に行はれた事

三、音楽班では短い期間中に多くの難関を突破ながらも更に前ステージに歩を進めた事

等々吾々は自信を以て言ひ得る。

PMは強化つある今後のテンポは加速的に大きくなるであらう。

併しながらこの成果も我々の満足には遠かい遠いものである。

客観的には急迫する政治状勢に対する巨大なる立後れ、主観的には予定の計画の不成功が厳に自己批判されなければならない。

最初書記局は特別三人を発して此の二年メーデーの特殊的意義を説き全同盟員が組織部・教育部・企画部の活動に積極的に参加すべき義務を有する事を強調したが、このアピールの拙さから、同盟四百の一般の注意をひくに足らず、この二ヶ月は殆ど何の効果をも持つ事が出来なかった。之が第一の失敗だ。

次に教育部では報告による様な三つの研究会を計画てながらその中三つが流会になり、一つだけが少数の人数で辛うじて持つことが出来た状態である。従来あの喜い事が

### 二

決定的条件ではあるが、一つには教育部に平常から研究会を指導に導いて多くの有の積極的な参加を誘発するだけの組織的能力が養はれてゐないからである。

次に組織部では今度の全活動を通じ最も不活発であった事を承認せねばならない。メーデーを目ざす組織活動を通じて同盟員倍化・サークル倍化が今度のメーデーの重要なるスローガンとして取られたにもかかはらずこの事の直接の担当者である組織部がそのために全然何等の対策を練らなかった事

小冊子発行と等なければならない準備期間の最も重要な時期に三名の部員が脱退された。併しながらこの事は理由にならず、組織部は三名の補充をも含めて最も強力に対策を練り且つ不断の計画性を持って全同盟員を統制し突撃的に組織活動を展開すべきであった。

しかる事実は全然それとはなってゐず、ただ少数の事務的な仕事に追われ、大衆的な組織活動の指導は殆ど皆無であった。

三月公演にあって得た貴重な経験を生かす事も出来なかった。

又更に我われがうたがひもなく計画した事の一つである、この組織活動の準備の一つとして各合唱団の指導者を集めて研究会を開催すべく計画したが、これも遂に実現されなかった。

この組織活動の停滞の一因は、一つの小冊子発行の為に全力を集中したことにもあるであらう。

作曲班では、その成果は極めて微弱であった。

### 三

音楽班では短い期間中に多くの難関を突破ながらも更に前ステージに歩を進めた事

等々吾々は自信を以て言ひ得る。

PMは強化つある今後のテンポは加速的に大きくなるであらう。

併しながらこの成果も我々の満足には遠かい遠いものである。

客観的には急迫する政治状勢に対する巨大なる立後れ、主観的には予定の計画の不成功が厳に自己批判されなければならない。

### 四

小冊子発行と等なければならない準備期間の最も重要な時期に三名の部員が脱退された。併しながらこの事は理由にならず、組織部は三名の補充をも含めて最も強力に対策を練り且つ不断の計画性を持って全同盟員を統制し突撃的に組織活動を展開すべきであった。

しかる事実は全然それとはなってゐず、ただ少数の事務的な仕事に追われ、大衆的な組織活動の指導は殆ど皆無であった。

三月公演にあって得た貴重な経験を生かす事も出来なかった。

又更に我われがうたがひもなく計画した事の一つである、この組織活動の準備の一つとして各合唱団の指導者を集めて研究会を開催すべく計画したが、これも遂に実現されなかった。

この組織活動の停滞の一因は、一つの小冊子発行の為に全力を集中したことにもあるであらう。

作曲班では、その成果は極めて微弱であった。

### 五

最初書記局は特別三人を発して此の二年メーデーの特殊的意義を説き全同盟員が組織部・教育部・企画部の活動に積極的に参加すべき義務を有する事を強調したが、このアピールの拙さから、同盟四百の一般の注意をひくに足らず、この二ヶ月は殆ど何の効果をも持つ事が出来なかった。之が第一の失敗だ。

次に教育部では報告による様な三つの研究会を計画てながらその中三つが流会になり、一つだけが少数の人数で辛うじて持つことが出来た状態である。従来あの喜い事が

### 六

決定的条件ではあるが、一つには教育部に平常から研究会を指導に導いて多くの有の積極的な参加を誘発するだけの組織的能力が養はれてゐないからである。

次に組織部では今度の全活動を通じ最も不活発であった事を承認せねばならない。メーデーを目ざす組織活動を通じて同盟員倍化・サークル倍化が今度のメーデーの重要なるスローガンとして取られたにもかかはらずこの事の直接の担当者である組織部がそのために全然何等の対策を練らなかった事

小冊子発行と等なければならない準備期間の最も重要な時期に三名の部員が脱退された。併しながらこの事は理由にならず、組織部は三名の補充をも含めて最も強力に対策を練り且つ不断の計画性を持って全同盟員を統制し突撃的に組織活動を展開すべきであった。

しかる事実は全然それとはなってゐず、ただ少数の事務的な仕事に追われ、大衆的な組織活動の指導は殆ど皆無であった。

三月公演にあって得た貴重な経験を生かす事も出来なかった。

又更に我われがうたがひもなく計画した事の一つである、この組織活動の準備の一つとして各合唱団の指導者を集めて研究会を開催すべく計画したが、これも遂に実現されなかった。

この組織活動の停滞の一因は、一つの小冊子発行の為に全力を集中したことにもあるであらう。

作曲班では、その成果は極めて微弱であった。

### 七

最初書記局は特別三人を発して此の二年メーデーの特殊的意義を説き全同盟員が組織部・教育部・企画部の活動に積極的に参加すべき義務を有する事を強調したが、このアピールの拙さから、同盟四百の一般の注意をひくに足らず、この二ヶ月は殆ど何の効果をも持つ事が出来なかった。之が第一の失敗だ。

次に教育部では報告による様な三つの研究会を計画てながらその中三つが流会になり、一つだけが少数の人数で辛うじて持つことが出来た状態である。従来あの喜い事が

### 八

決定的条件ではあるが、一つには教育部に平常から研究会を指導に導いて多くの有の積極的な参加を誘発するだけの組織的能力が養はれてゐないからである。

次に組織部では今度の全活動を通じ最も不活発であった事を承認せねばならない。メーデーを目ざす組織活動を通じて同盟員倍化・サークル倍化が今度のメーデーの重要なるスローガンとして取られたにもかかはらずこの事の直接の担当者である組織部がそのために全然何等の対策を練らなかった事

小冊子発行と等なければならない準備期間の最も重要な時期に三名の部員が脱退された。併しながらこの事は理由にならず、組織部は三名の補充をも含めて最も強力に対策を練り且つ不断の計画性を持って全同盟員を統制し突撃的に組織活動を展開すべきであった。

しかる事実は全然それとはなってゐず、ただ少数の事務的な仕事に追われ、大衆的な組織活動の指導は殆ど皆無であった。

三月公演にあって得た貴重な経験を生かす事も出来なかった。

又更に我われがうたがひもなく計画した事の一つである、この組織活動の準備の一つとして各合唱団の指導者を集めて研究会を開催すべく計画したが、これも遂に実現されなかった。

この組織活動の停滞の一因は、一つの小冊子発行の為に全力を集中したことにもあるであらう。

作曲班では、その成果は極めて微弱であった。

### 九

最初書記局は特別三人を発して此の二年メーデーの特殊的意義を説き全同盟員が組織部・教育部・企画部の活動に積極的に参加すべき義務を有する事を強調したが、このアピールの拙さから、同盟四百の一般の注意をひくに足らず、この二ヶ月は殆ど何の効果をも持つ事が出来なかった。之が第一の失敗だ。

次に教育部では報告による様な三つの研究会を計画てながらその中三つが流会になり、一つだけが少数の人数で辛うじて持つことが出来た状態である。従来あの喜い事が

### 十

決定的条件ではあるが、一つには教育部に平常から研究会を指導に導いて多くの有の積極的な参加を誘発するだけの組織的能力が養はれてゐないからである。

次に組織部では今度の全活動を通じ最も不活発であった事を承認せねばならない。メーデーを目ざす組織活動を通じて同盟員倍化・サークル倍化が今度のメーデーの重要なるスローガンとして取られたにもかかはらずこの事の直接の担当者である組織部がそのために全然何等の対策を練らなかった事

小冊子発行と等なければならない準備期間の最も重要な時期に三名の部員が脱退された。併しながらこの事は理由にならず、組織部は三名の補充をも含めて最も強力に対策を練り且つ不断の計画性を持って全同盟員を統制し突撃的に組織活動を展開すべきであった。

しかる事実は全然それとはなってゐず、ただ少数の事務的な仕事に追われ、大衆的な組織活動の指導は殆ど皆無であった。

三月公演にあって得た貴重な経験を生かす事も出来なかった。

又更に我われがうたがひもなく計画した事の一つである、この組織活動の準備の一つとして各合唱団の指導者を集めて研究会を開催すべく計画したが、これも遂に実現されなかった。

この組織活動の停滞の一因は、一つの小冊子発行の為に全力を集中したことにもあるであらう。

作曲班では、その成果は極めて微弱であった。

### 十一

最初書記局は特別三人を発して此の二年メーデーの特殊的意義を説き全同盟員が組織部・教育部・企画部の活動に積極的に参加すべき義務を有する事を強調したが、このアピールの拙さから、同盟四百の一般の注意をひくに足らず、この二ヶ月は殆ど何の効果をも持つ事が出来なかった。之が第一の失敗だ。

次に教育部では報告による様な三つの研究会を計画てながらその中三つが流会になり、一つだけが少数の人数で辛うじて持つことが出来た状態である。従来あの喜い事が

### 十二

決定的条件ではあるが、一つには教育部に平常から研究会を指導に導いて多くの有の積極的な参加を誘発するだけの組織的能力が養はれてゐないからである。

次に組織部では今度の全活動を通じ最も不活発であった事を承認せねばならない。メーデーを目ざす組織活動を通じて同盟員倍化・サークル倍化が今度のメーデーの重要なるスローガンとして取られたにもかかはらずこの事の直接の担当者である組織部がそのために全然何等の対策を練らなかった事

小冊子発行と等なければならない準備期間の最も重要な時期に三名の部員が脱退された。併しながらこの事は理由にならず、組織部は三名の補充をも含めて最も強力に対策を練り且つ不断の計画性を持って全同盟員を統制し突撃的に組織活動を展開すべきであった。

しかる事実は全然それとはなってゐず、ただ少数の事務的な仕事に追われ、大衆的な組織活動の指導は殆ど皆無であった。

三月公演にあって得た貴重な経験を生かす事も出来なかった。

又更に我われがうたがひもなく計画した事の一つである、この組織活動の準備の一つとして各合唱団の指導者を集めて研究会を開催すべく計画したが、これも遂に実現されなかった。

この組織活動の停滞の一因は、一つの小冊子発行の為に全力を集中したことにもあるであらう。

作曲班では、その成果は極めて微弱であった。

### 十三

最初書記局は特別三人を発して此の二年メーデーの特殊的意義を説き全同盟員が組織部・教育部・企画部の活動に積極的に参加すべき義務を有する事を強調したが、このアピールの拙さから、同盟四百の一般の注意をひくに足らず、この二ヶ月は殆ど何の効果をも持つ事が出来なかった。之が第一の失敗だ。

次に教育部では報告による様な三つの研究会を計画てながらその中三つが流会になり、一つだけが少数の人数で辛うじて持つことが出来た状態である。従来あの喜い事が

### 十四

決定的条件ではあるが、一つには教育部に平常から研究会を指導に導いて多くの有の積極的な参加を誘発するだけの組織的能力が養はれてゐないからである。

次に組織部では今度の全活動を通じ最も不活発であった事を承認せねばならない。メーデーを目ざす組織活動を通じて同盟員倍化・サークル倍化が今度のメーデーの重要なるスローガンとして取られたにもかかはらずこの事の直接の担当者である組織部がそのために全然何等の対策を練らなかった事

小冊子発行と等なければならない準備期間の最も重要な時期に三名の部員が脱退された。併しながらこの事は理由にならず、組織部は三名の補充をも含めて最も強力に対策を練り且つ不断の計画性を持って全同盟員を統制し突撃的に組織活動を展開すべきであった。

しかる事実は全然それとはなってゐず、ただ少数の事務的な仕事に追われ、大衆的な組織活動の指導は殆ど皆無であった。

三月公演にあって得た貴重な経験を生かす事も出来なかった。

又更に我われがうたがひもなく計画した事の一つである、この組織活動の準備の一つとして各合唱団の指導者を集めて研究会を開催すべく計画したが、これも遂に実現されなかった。

この組織活動の停滞の一因は、一つの小冊子発行の為に全力を集中したことにもあるであらう。

作曲班では、その成果は極めて微弱であった。

### 十五

最初書記局は特別三人を発して此の二年メーデーの特殊的意義を説き全同盟員が組織部・教育部・企画部の活動に積極的に参加すべき義務を有する事を強調したが、このアピールの拙さから、同盟四百の一般の注意をひくに足らず、この二ヶ月は殆ど何の効果をも持つ事が出来なかった。之が第一の失敗だ。

次に教育部では報告による様な三つの研究会を計画てながらその中三つが流会になり、一つだけが少数の人数で辛うじて持つことが出来た状態である。従来あの喜い事が

### 十六

決定的条件ではあるが、一つには教育部に平常から研究会を指導に導いて多くの有の積極的な参加を誘発するだけの組織的能力が養はれてゐないからである。

次に組織部では今度の全活動を通じ最も不活発であった事を承認せねばならない。メーデーを目ざす組織活動を通じて同盟員倍化・サークル倍化が今度のメーデーの重要なるスローガンとして取られたにもかかはらずこの事の直接の担当者である組織部がそのために全然何等の対策を練らなかった事

小冊子発行と等なければならない準備期間の最も重要な時期に三名の部員が脱退された。併しながらこの事は理由にならず、組織部は三名の補充をも含めて最も強力に対策を練り且つ不断の計画性を持って全同盟員を統制し突撃的に組織活動を展開すべきであった。

しかる事実は全然それとはなってゐず、ただ少数の事務的な仕事に追われ、大衆的な組織活動の指導は殆ど皆無であった。

三月公演にあって得た貴重な経験を生かす事も出来なかった。

又更に我われがうたがひもなく計画した事の一つである、この組織活動の準備の一つとして各合唱団の指導者を集めて研究会を開催すべく計画したが、これも遂に実現されなかった。

この組織活動の停滞の一因は、一つの小冊子発行の為に全力を集中したことにもあるであらう。

作曲班では、その成果は極めて微弱であった。

### 十七

最初書記局は特別三人を発して此の二年メーデーの特殊的意義を説き全同盟員が組織部・教育部・企画部の活動に積極的に参加すべき義務を有する事を強調したが、このアピールの拙さから、同盟四百の一般の注意をひくに足らず、この二ヶ月は殆ど何の効果をも持つ事が出来なかった。之が第一の失敗だ。

次に教育部では報告による様な三つの研究会を計画てながらその中三つが流会になり、一つだけが少数の人数で辛うじて持つことが出来た状態である。従来あの喜い事が

### 十八

決定的条件ではあるが、一つには教育部に平常から研究会を指導に導いて多くの有の積極的な参加を誘発するだけの組織的能力が養はれてゐないからである。

次に組織部では今度の全活動を通じ最も不活発であった事を承認せねばならない。メーデーを目ざす組織活動を通じて同盟員倍化・サークル倍化が今度のメーデーの重要なるスローガンとして取られたにもかかはらずこの事の直接の担当者である組織部がそのために全然何等の対策を練らなかった事

小冊子発行と等なければならない準備期間の最も重要な時期に三名の部員が脱退された。併しながらこの事は理由にならず、組織部は三名の補充をも含めて最も強力に対策を練り且つ不断の計画性を持って全同盟員を統制し突撃的に組織活動を展開すべきであった。

しかる事実は全然それとはなってゐず、ただ少数の事務的な仕事に追われ、大衆的な組織活動の指導は殆ど皆無であった。

三月公演にあって得た貴重な経験を生かす事も出来なかった。

又更に我われがうたがひもなく計画した事の一つである、この組織活動の準備の一つとして各合唱団の指導者を集めて研究会を開催すべく計画したが、これも遂に実現されなかった。

この組織活動の停滞の一因は、一つの小冊子発行の為に全力を集中したことにもあるであらう。

作曲班では、その成果は極めて微弱であった。

### 十九

最初書記局は特別三人を発して此の二年メーデーの特殊的意義を説き全同盟員が組織部・教育部・企画部の活動に積極的に参加すべき義務を有する事を強調したが、このアピールの拙さから、同盟四百の一般の注意をひくに足らず、この二ヶ月は殆ど何の効果をも持つ事が出来なかった。之が第一の失敗だ。

次に教育部では報告による様な三つの研究会を計画てながらその中三つが流会になり、一つだけが少数の人数で辛うじて持つことが出来た状態である。従来あの喜い事が

### 二十

決定的条件ではあるが、一つには教育部に平常から研究会を指導に導いて多くの有の積極的な参加を誘発するだけの組織的能力が養はれてゐないからである。

次に組織部では今度の全活動を通じ最も不活発であった事を承認せねばならない。メーデーを目ざす組織活動を通じて同盟員倍化・サークル倍化が今度のメーデーの重要なるスローガンとして取られたにもかかはらずこの事の直接の担当者である組織部がそのために全然何等の対策を練らなかった事

小冊子発行と等なければならない準備期間の最も重要な時期に三名の部員が脱退された。併しながらこの事は理由にならず、組織部は三名の補充をも含めて最も強力に対策を練り且つ不断の計画性を持って全同盟員を統制し突撃的に組織活動を展開すべきであった。

しかる事実は全然それとはなってゐず、ただ少数の事務的な仕事に追われ、大衆的な組織活動の指導は殆ど皆無であった。

三月公演にあって得た貴重な経験を生かす事も出来なかった。

又更に我われがうたがひもなく計画した事の一つである、この組織活動の準備の一つとして各合唱団の指導者を集めて研究会を開催すべく計画したが、これも遂に実現されなかった。

この組織活動の停滞の一因は、一つの小冊子発行の為に全力を集中したことにもあるであらう。

作曲班では、その成果は極めて微弱であった。

# 暴圧を蹴つて P.M.門の旗を押進めよ！

## 全日の同志諸君！

諸君べく支配階級の手先共はプロ芸術文化聯盟中央協議会並びに加盟各団体に対しあらゆる手段と暴虐の限りをつくして活動の破壊を企てゐる。

我が日本プロレタリア音楽家同盟に於ても五月以来不断続きの暴圧が加えられ即ち前のユニスに発表した渋谷署の検束、拘留、強制的に入つては移動音楽隊を組んで労働者農民の諸君の催し物に参加した同志、就職斡旋、結婚媒介の三名を「煽動を劇減した」と云ふ様な奈何にも理由で検束し、結局名を一週間を残虐なる手口を加へつゝ把握した。更に七月二日同志奈良部、山本正夫、中野秀夫の三名を中野署に捕へ殴打、山本は九日、中野は二十八日の起訴を受けた。更に十七日戸塚署は吉起長系を全然無理由で検束した。

## 全日の同志諸君！

諸君と支配階級の暴圧は何を為すか、既に之等の支配階級の暴圧は何を為すかゆるやかに近くなく日本を指導の頭上に結集する全日本労働者・農民諸君の音楽運動の堂々たる発展を根幹的に破壊しようとするものだ。かの日本プロレタリア音楽家同盟の成長があるのだ。換言すれば音楽的組織動に従いその事からプロレタリア的生活感情を体得する事を除外してがのとりやすい政治的な体得する事を除外してがのとりやすい政治的な体得するものだ。

## 三

コップの中の嵐かあらう。近日その具体案が表るであらう。すでに一年間の斗争に異へねばならない。近日中に春夏会を持ち異体験を練るであらう。すべて当事に依るために四月の斗争の批判の上に立つて即刻新しい活動に向はねばならない。

一、組織活動、政治活動の一層の強化
一、機関紙の発行の一層の強化
一、支部の活動を確立せよ！P.M.せ
一、年度大会へ！革命歌学へ！

# 同盟費を確立しろ！

## 同盟費を即時完納しろ！

## 金同盟員諸君！

今や我が同盟財政部は第二の非常時にある。即ち五月の赤色音楽会に於ける約五十円の記録、音楽新聞の費の四以上の非常、メーデー小公演の約百円の設備費の支払いに対する二四の家賃借金。

之に対して副産代其他を合して約八百円の借金。同盟員個人に対して三円以上の借金、印刷屋へ未払等で今迄を弥縫して来た。しかも之等はいづれも音楽分散人を一掃する借金であり即ちはるかに約束の期限を過ぎてゐる。之等悪感過ぎを要するものは対し河等迄さの見通しを待ち得ない。

現在の刷迫せる客観的状勢に於て音に課せられた任務は大きい。音はあらゆる困難を蹴つて二三行を遂行しなければならない。即ち近くお三回全日大会。次期音楽会を持つて更に音楽新聞の充実定期的発行を急速に実現しなければならぬ。之等は総て相当の費用を要求する。次期しかも収入出版は計画されつゝも、財政難のため実行不可能の状態だ。

## 金同盟員諸君！

しかるに同盟員の最大義務たる同盟費納入状態は如何ぞ絶対的六人だ！一月以後分でも未だ三の内だ。同盟費完納は全同

# 新時間割

各班幹部の責任者によつて大体の時間が決定した。各班は直ちに班会を持つて時間を正確に決定しろ

| | 午前 | 午後 | 夜 |
|---|---|---|---|
| 月 | | | ハーモニカ |
| 火 | | | 声楽 |
| 水 | オルガン | | |
| 木 | | ハーモニカ | 声楽 |
| 金 | | オルガン | 作曲 |
| 土 | | | マンドリン |
| 日 | | | 声楽 |

オルガン・声楽・作曲の練習は高円寺の練習所に於て

（下段より）

盟を基礎とする財政部の活動は、音楽運動の移動活動部、宣伝の移動活動を尚早に執行する全部で十回半ビラ五回集会五回（三所ホール）中小公演四回のうち約数を除き小ホールクラスだつた。所謂ある。四回の公演うち四回集会は先ず大ざつぱ一決算の報告をなしつゝ其たが動部の各方面の未充分さは移動グループに対する真の理解を徹底を得なかつた。かゝる為めにグループの人をもみい役だ。今後、お互のカに対して、更なる組織的に充分な活動をなすべく（ありながら）尚月一回の定例集会をなす。新聞紙面を移動によつてくん収入する様合せやうは注意する事。尚四日の移動によつて三ケの内ろん活動の手がかりを得た。今後移動に於てかゝる努力を積極的にはなすべきだ

## 財政部

その窮迫状態は別記の通り部長中野は長き検束の後治動不可能となり来整理、近く整理発表する。新部長選

# メーデー準備 小公演 メーデー音樂會

メーデー準備斗爭の一翼として各地區毎に小公演を持つ事を計劃した。二十四日城西高田會館、二十七日城南三田クラブ二十八日城北三山クラブ二十九日城東セツルメント、この他三月中部でブロット東京支部との共同公演を持つ予定であつたが、その後のブロットの計畫變更の爲これは實現されなかつた。二十八日の城北小公演は當日該地區に失業者大會が持たれる事を聞いたので急に予定を變へ三十日淨化團で演ずる事にしたがメーデー前日を恐れた所から一の暴壓によつて不許可となつた。

結局我々が斗ひ取つたのは三地區の公演であつたが、數字の上に現はれた成績は左の如きものである。

二十四日 城西 高田會館
會場費 七円
入場者 労働者 一四人 一般 八人
前売券 六人 招待 六人
計 三四人 現金收入 三円

二十七日 城南 三田クラブ
會場費 三円五〇銭
入場者 労働者 二五人 一般 一〇人
前売 九人 招待 二人
子供 三人(無料)
計 四四人 現金收入 四二三銭

二十九日 城東 帝大セツルメント
會場費 二円五〇銭
入場者 労働者 三六人 一般 二人
前売 五人 招待 一五人
子供五〇人ばかり
計 六四人(子供) 現金收入 五円八〇銭

收入總額 一六円六〇銭
支出總額 二七円四一銭
内訳 會場費 一三円
宣傳費 六円六八銭
公演準備費 五円二一銭
公演附帶費 二円五二銭
差引缺損 一〇円八一銭

以上の數字に明らかな如くこの小公演を目標としての動員計畫は成功しなかつたと云はねばならぬ。新命新らしい作品によつて三三年メーデーの主題を生かすべく編成せられたプログラムも動員の不成功によつて甚だ非大衆的な結果に終つた。今後は組織部との有機的連絡が一層強化せられねばならない。

プログラム全體について三三年メーデーの主題は全然積極的に生かされてはゐない。當局の彈壓にそまるがメーデーの特殊的意義が甚だ不明瞭にか浮び出でゐない。

プログラムの中心である「俺達の五月」もこの意味が不成功であつた。しかもその中には若干の誤まりがある。「例へば支那のメーデーに於ては現在の如く血に澎湃と漲る××的氣勢が全く画かれて居ないレ「ドイツ」には現在我々の正面の敵である「ファシズム」の實體に對する斗爭が既に凋落に瀕しつゝある社會民主々義者に對する嘲罵におかれてゐる其の他幾多の批判を略す。

# 各部報告

## 書記局

メーデー準備活動の期間中巻頭の文にある如く不活潑で書記局としての機能を發揮しなかつた。

メーデー後、今度暴壓の犧牲を出で彼等をはげますと共に全員の「ふるひ」を「健し」更に新らしい斗爭へ進むべき基礎を築ふべく一日のピクニックを前橋に持つて愉快に過した。

## 教育部

メーデー・カンパに向つて、四月の研究會は計畫された。「戰爭とファシズム」を中心として劃期的メーデーの斗はれ標としてゐる現狀勢の理解、その上に立つて「戰ひは如何に斗ふべきか」「同盟強化かくの如き組織、指導方法」等メーデー歌の批判より新メーデー歌の作製へと等が研究會の主題として掲げられた。從來教育部の計畫が既に立ちおくれであつた上に、同盟員の不活潑さが一層の立後れを呼び「戰爭とファシズム」以外は總て流會となつた。我々の研究會は狀勢の正しい認識から具體的な活動方法の研究にまで進まなければ意味をなさない。四月の研究會は全然不成功であつた。

自主的研究會報告
音樂史(其ロマン含めて)高杉一郎氏。
エスペラント 兼松 ドイツ語 泉

各研究會は直ちに活動を開始しろ。

# 新同盟員

四月中新らしく同盟員に推薦された氏名

北上 吉泰 澄子
八木 雅夫
大山 徹男
安田 初川 鶴吉
淺野 みどり
田山 潛
土屋 武夫
北川

盛岡 外次 (以上東京)
(地方)

# 部長並びに部員變更

中野秀三郎は長き物質の後種々の事情のため一時活動不可能の狀態になつたので次の如く常任委で決定した。

敎政部長 河野さくら
敎育部 伊藤大介
組織部 土屋武夫

組織部 メーデー準備活動中不活潑のため別記の如く批判された。四月四日常前後に於ける不活潑を面目躍如たる事を深く自己批判し三度傾向さぬ様にする、と同時に全同盟員が組織的に最大の關心を持たねばならない。

現在すでに敎江東三、城西四、城南二、城北三、中部一、計一四のサークルの具体的發展(同盟員獲得、戸門出版物の支持者獲得)に努力する事を決定した。又下からの連絡物が持ちこされ代表者會を組織部が擔當し之にオルグを戸門組織の基礎を広範な大衆に宣傳煽動しなければならない。

基本的方針として各地區委員會の確立、深き地方協議會の確立と組織的に力を強める様努力すべきである。この事の具体策として「コップ」書記局の援助による革命統一の中心となるべき種々の団体を戸門組織部として取り上げ具体化する事を決めし次の部會に具体案を協議する事になつてゐる。

## 企畫部

メーデー小公演に全力をあげて(別記)他の仕事が遅れがちなかつた。

既に計畫した七大衆講を完全に出版する見込に上げられた新敎曲集編輯委員會を企畫部のもとに下に連絡活動を開始する。

## 音樂新聞部

本四月音樂會直前には止むなく二頁の号外發行に依て中斷する事もしばしばであつた。四月中にメーデーを前にしてメーデー號場号の發行のためのプランが立てられ、和四回音樂會の記事、メーデー、コップ暴壓を中心にして編輯された。形態も四頁又發行たかゝる大きな充分な紙面でない。更に材料を充分に發揮せしめるために紙面の拡大を計つてゐる。現在の門にとつて音新の役割がどんなに重大であるかは何度も云つてあることだが、そのことは音樂會以後の讀者の増加等を見ても良く知ることが出來る。ファシヨ化しつゝある敵階級は益々横暴な壓迫を以て挑んで來てゐる。即ち毎号發禁押收だ。經濟的に苦しみと重ねてゐる音新をムザムザ奴等の手に渡してなるものか音樂新聞をあらゆる意味で守らなければならない。組織部を先頭にして讀者をふやせ!經濟的基礎は現在出來てゐる新聞をとる事が

(二頁最下段に)